

2022年12月期 第3四半期 決算補足説明資料

井関農機株式会社

2022年11月14日

1. 2022年12月期第3四半期 業績の概要
2. 2022年12月期 業績予想



食と**農**と**大地**の
ソリューションカンパニー

1. 2022年12月期第3四半期 業績の概要

<第3四半期業績>

海外好調

国内は補助金反動や米価低迷・資材価格高騰影響等で減

国内 : サプライチェーン混乱に伴う生産遅延
米価低迷・資材価格高騰による購買意欲減退
前期にあった経営継続補助金の反動

海外 : (北米) コンパクトトラクタ市場が調整局面に入るも、現地在庫レベル回復に向け当社出荷は続伸

(欧州) ライフスタイルの変化を捉えコンシューマー向けを中心に販売好調
景観整備向け需要も回復しプロ向け販売も増加
ISEKIドイツの連結子会社化も増収寄与

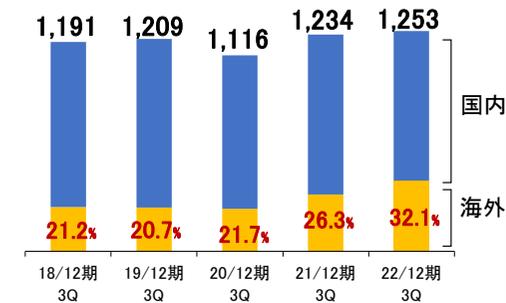
収益 : 各地域で価格改定を実施も原材料価格高騰影響の全てをカバーするに至らず収益を圧迫

<通期業績予想>

足許の状況等踏まえ修正

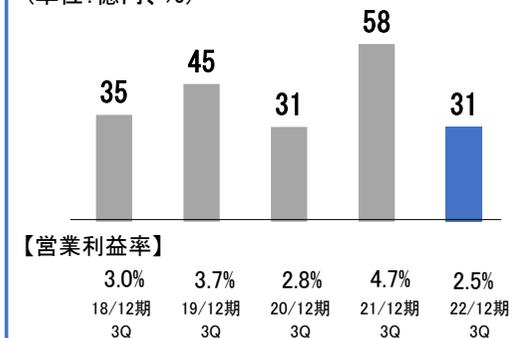
売上高推移(第3四半期)

(単位: 億円、%)



営業利益・率 推移(第3四半期)

(単位: 億円、%)



市場環境及び当社事業環境 (22/12期第3四半期)

【凡例】 ✓ =市場環境 ➤ =当社事業環境

市場環境と当社事業環境	
✓ 新型コロナウイルス感染症の影響	
<全体>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ サプライチェーンの混乱(生産用部品調達遅れ等) ➤ 原材料価格高騰
<国内>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 展示会中止など営業活動に影響 ➤ 経営継続補助金の反動
<海外>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 北米:コンパクトトラクタ市場が調整局面に入るも、現地在庫レベル回復に向け当社出荷は続伸 ➤ 欧州:ライフスタイルの変化に伴う需要増、プロ向け販売も回復
✓ 米価低迷、資材価格高騰	
<国内>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 農家の購買意欲減退
✓ ロシアのウクライナへの侵攻	
<全体>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 販売面:この地域での営業活動を行っていないため直接的な影響はない ➤ 仕入面:サプライチェーンの混乱、原材料価格の更なる高騰懸念
✓ 円安の進行	
<全体>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 営業利益での影響は軽微
✓ 原油等燃料価格高騰	
<全体>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 物流費・操業費アップ

連結業績の概要

(2022年1月1日～2022年9月30日)

(単位: 億円、%)

	18/12期 3Q実績	19/12期 3Q実績	20/12期 3Q実績	21/12期 3Q実績	22/12期 3Q実績	前年 同期比
売上高	1,191	1,209	1,116	1,234	1,253	+ 19
(国内)	939	959	874	909	850	△ 58
(海外)	252	249	241	324	402	+ 78
営業利益	35	45	31	58	31	△ 26
営業利益率	3.0%	3.7%	2.8%	4.7%	2.5%	△ 2.2%
経常利益	27	32	28	65	38	△ 26
親会社株主に帰属する 四半期純利益	22	21	24	47	34	△ 12
為替平均 レート (円)						
米ドル	109.4	109.6	107.8	107.8	124.9	+17.1
ユーロ	131.5	123.2	120.6	129.6	133.9	+4.3

国内売上高

前年同期比
▲58億円

サプライチェーン混乱に伴う生産遅延や米価低迷・資材価格高騰による購買意欲減退
メンテナンス収入は維持

(単位:億円)		18/12期 3Q実績	19/12期 3Q実績	20/12期 3Q実績	21/12期 3Q実績	22/12期 3Q実績	前年 同期比
農機 製品 農機 関連	整地機	210	213	173	188	181	△ 6
	栽培機	74	80	64	72	65	△ 7
	収穫調製機	137	141	119	117	114	△ 2
	小計	422	434	357	378	361	△ 17
	作業機	160	171	152	179	152	△ 26
	部品	113	118	119	118	119	0
	修理収入	41	43	44	45	44	0
	小計	315	333	316	343	316	△ 26
	計	737	767	674	721	677	△ 43
	施設工事	49	40	56	36	32	△ 4
その他農業関連	151	152	143	151	140	△ 10	
合計	939	959	874	909	850	△ 58	

主な増減要因(前年同期比)

- ✓ 農機製品はサプライチェーン混乱に伴う生産遅延、米価低迷・資材価格高騰による購買意欲減退に加え、経営継続補助金の反動により減収
- ✓ 作業機は経営継続補助金の反動
- ✓ 部品、修理収入などのメンテナンス収入は前年同期を維持

海外売上高

前年同期比
+78億円

北米、欧州を中心に増収
ISEKIドイツ連結子会社化による増収(+20億円)

(単位:億円)	18/12期 3Q実績	19/12期 3Q実績	20/12期 3Q実績	21/12期 3Q実績	22/12期 3Q実績	前年 同期比	うち 為替影響
北米	88	101	92	113	131	+ 17	+10
欧州	108	99	92	133	198	+ 65	+12
アジア	53	44	54	73	67	△ 6	+4
その他	2	3	2	3	5	+ 1	0
連結売上高 合計	252	249	241	324	402	+ 78	+26

主な増減要因(前年同期比)

- ✓ 北米：コンパクトトラクタ市場が調整局面に入るも、現地在庫レベル回復に向け当社出荷は続伸
- ✓ 欧州：ライフスタイルの変化を捉え、コンシューマー向けを中心に販売好調、景観整備向け需要も回復しプロ向け販売も増加
加えて、ISEKIドイツの連結子会社化(+約20億円)もあり増収
- ✓ アジア：韓国向けの増加はあるも、中国向け半製品の出荷減などにより減収

営業利益

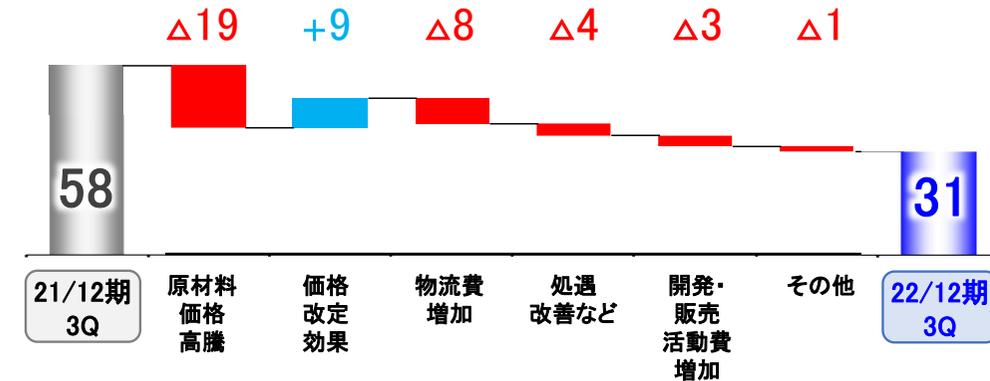
前年同期比
▲26億円

各地域で価格改定実施も原材料価格高騰影響全てをカバーするに至らず
収益を圧迫

(単位: 億円、%)

	18/12期 3Q実績	19/12期 3Q実績	20/12期 3Q実績	21/12期 3Q実績	22/12期 3Q実績	前年 同期比
売上高	1,191	1,209	1,116	1,234	1,253	+ 19
売上総利益	353	358	331	372	372	0
売上総利益率	29.7%	29.6%	29.7%	30.1%	29.7%	△ 0.4%
販管費	317	312	299	313	341	+ 27
人件費	187	183	179	185	193	+ 8
その他経費	130	129	119	128	147	+ 18
営業利益	35	45	31	58	31	△ 26
営業利益率	3.0%	3.7%	2.8%	4.7%	2.5%	△ 2.2%

【営業利益増減内訳(前年同期比)】



【為替影響(億円)】

売上	原価	販管費	営業利益
+26	△22	△3	+1

経常利益、四半期純利益

経常利益
前年同期比
▲26億円

前年同期にあった一過性の営業外収益の剥落や持分法による投資損失拡大はあるも
為替差益の増加により営業利益と同様の減益幅

(単位: 億円)	18/12期 3Q実績	19/12期 3Q実績	20/12期 3Q実績	21/12期 3Q実績	22/12期 3Q実績	前年 同期比
営業利益	35	45	31	58	31	△ 26
金融収支	△5	△5	△5	△4	△5	0
その他営業外損益	△2	△6	1	11	12	0
経常利益	27	32	28	65	38	△ 26
特別利益	1	1	6	0	8	+ 7
特別損失	△1	△2	0	△2	△2	0
税 前 利 益	27	31	34	63	44	△ 19
税、税調整額	△5	△10	△10	△15	△9	+ 6
親会社株主に帰属する 四半期純利益	22	21	24	47	34	△ 12

営業外損益増減内訳(前年同期比)	
為替差益	+7億円
受取和解金の剥落	△4億円
持分法による投資損失	△3億円

特別利益増減内訳(前年同期比)	
ISEKIドイツ連結子会社化影響 (段階取得に係る差益)	+7億円 (+5億円)
(負ののれん発生益)	(+2億円)

バランスシート

前年同期末比

【棚卸資産】

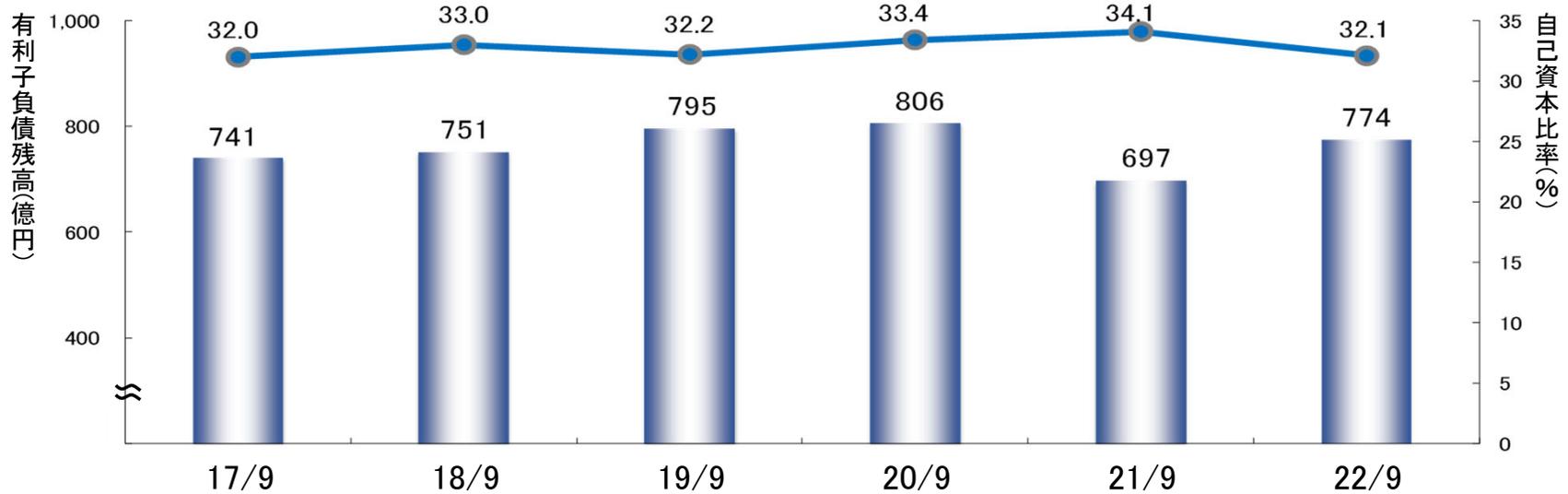
- ・商品及び製品：北米での現地調達部品不足による引き取り遅れやISEKIドイツ連結影響などにより増加
- ・仕掛品：サプライチェーン混乱により工場仕掛が増加

(単位: 億円)	21/9月末	22/9月末	前年 同期末比		21/9月末	22/9月末	前年 同期末比
現金	125	151	+ 26	仕入債務	371	420	+ 49
売上債権	313	331	+ 18	有利子負債	697	774	+ 76
棚卸資産	482	620	+ 137	(借入金)	(622)	(700)	(+77)
(商品及び製品)	(399)	(504)	(+104)	その他負債	188	203	+ 15
(仕掛品)	(70)	(100)	(+29)				
その他流動資産	42	42	0				
流動資産計	964	1,145	+ 181	負債合計	1,256	1,398	+ 141
有形固定資産	850	858	+ 7	純資産	677	725	+ 47
無形固定資産	22	24	+ 1				
投資その他資産	96	95	△ 1	(利益剰余金)	(192)	(204)	(+12)
固定資産計	970	978	+ 8				
資産合計	1,934	2,123	+ 189	負債純資産合計	1,934	2,123	+ 189

自己資本比率・有利子負債

有利子負債
D/Eレシオ

有利子負債はISEKIドイツ連結子会社化もあり前年同期比増加も例年並みの水準
D/Eレシオは1.07倍



借入金・社債	670	688	723	727	622	700
リース債務	70	63	71	79	74	74
有利子負債 計	741	751	795	806	697	774
D/Eレシオ	1.05倍	1.05倍	1.14倍	1.14倍	1.03倍	1.07倍

※D/Eレシオ=有利子負債/純資産 ※リース債務を含む

2. 2022年12月期 業績予想

2022年12月期 連結業績予想



連結業績予想

営業利益 : 価格改定も原材料価格高騰が想定以上
経常利益 : 為替差益の計上などにより前回予想と同額
当期純利益 : ISEKI ドイツ連結子会社化による特別利益の計上

※1 当初予想 : 2022年 2月15日公表予想
 ※2 前回予想 : 2022年 8月10日公表予想
 ※3 今回予想 : 2022年11月14日公表予想

(単位:億円)	18/12期 実績	19/12期 実績	20/12期 実績	21/12期 実績	22/12期			前期比	前回 予想比	
					※1 当初予想	※2 前回予想	※3 今回予想			
売上高	1,559	1,498	1,493	1,581	1,665	1,665	1,665	+ 83	—	
(国内)	1,228	1,177	1,159	1,173	1,190	1,128	1,114	△ 59	△ 14	
(海外)	331	321	333	407	475	537	551	+ 143	+ 14	
営業利益	31	27	20	41	47	47	37	△ 4	△ 10	
率	2.0%	1.8%	1.4%	2.6%	2.8%	2.8%	2.2%	△ 0.4%	△ 0.6%	
経常利益	26	11	17	46	46	46	46	0	—	
親会社株主に帰属する 当期純利益	10	7	△56	31	31	31	35	+ 3	+ 4	
為替平均レート (円)	米ドル	110.2	109.3	107.0	109.0	110.0	128.7	132.2	+23.2	+ 3.5
	ユーロ	130.9	121.6	121.5	129.8	130.0	135.8	137.0	+ 7.2	+ 1.2
期末配当(円)	30	30	0	30	30	30	30	—	—	

将来の見通しに関する記述についての注意

- ・本資料は、情報提供を目的として作成しており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・本資料は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が作成したものでありますが、潜在的リスクや不確実性が含まれており、経済情勢や市場動向の変化等により実際の結果と必ずしも一致するものではありません。
- ・ご利用に際しては、ご自身の判断でお願い致します。

本資料に掲載している業績予想や目標数値に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。



未来の
ために、
いま選ぼう。

井関グループは、
環境省による地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を
促す国民運動である【COOL CHOICE】の取組みに賛同しています。
「賢い選択」の提案として「エコ商品」など
環境に配慮した商品の開発普及を推進しています。

食から日本を考える。

**NIPPON
FOOD
SHIFT**